

メーデー宣言 (案)

私たちは本日、第90回広島県中央メーデーを開催した。

メーデーは、1886年に米国の労働者が1日8時間労働を求めてゼネストに立ち上がったことを起源としている。日本の第1回メーデーは、1920年5月2日に開催された。その後、戦争などで禁止されたこともあったが、第二次世界大戦後、働く者の団結と連帯によって復活した。これまで、労働者の地位や労働条件の向上、民主主義の発展などをめざして開催されたメーデーは、本日90回目を迎える。改めてメーデーの原点や意義を認識し、すべての仲間が団結・連帯することの重要性を共有しよう。

東日本大震災から8年、熊本県を中心とする九州地震から3年、また、去年は西日本豪雨災害をはじめ、全国各地で、地震や豪雨、台風などの大規模な災害が立て続けに発生し、依然として多くの人たちが不自由な生活を強いられている。とりわけ、昨年7月の西日本豪雨災害においては、連合広島として県内各地で復旧に向けたボランティア活動を精力的に取り組んできた。私たちは、災害を風化させることなく、引き続き防災・減災に取り組み、被災地の復興と地域の安全を守る運動を展開していく。

この4月から、改正労働基準法をはじめとする、働き方改革関連法が施行された。誰もが健やかに安心して働き続けられるよう、36協定の遵守など真に働く者のための働き方改革を確実に遂行していかなければならない。また、これまでの「底上げ・底支え」「格差是正」の流れを継続していこう。来たる7月の参議院議員選挙では、子ども・子育て支援、医療、介護など、社会的セーフティネットの拡大・強化に向けた政策・制度要求を通じて「働くことを軸とする安心社会」を実現するためにも、広島選挙区推薦候補者および組織内候補者全員の勝利に向け、総力を挙げて取り組んでいこう。

世界では、貧富と格差の拡大、民主主義を脅かす言動の頻発により、不安が高まっている。国内外の関係団体と連携し、すべての仲間、すべての人が平和と人権を守り、笑顔あふれる未来に向けて、全力を挙げて運動に取り組むことを、ここに宣言する。